

Indonesia Weekly

2021年9月21日



(対象期間：2021/9/13～2021/9/17)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2021年9月17日)

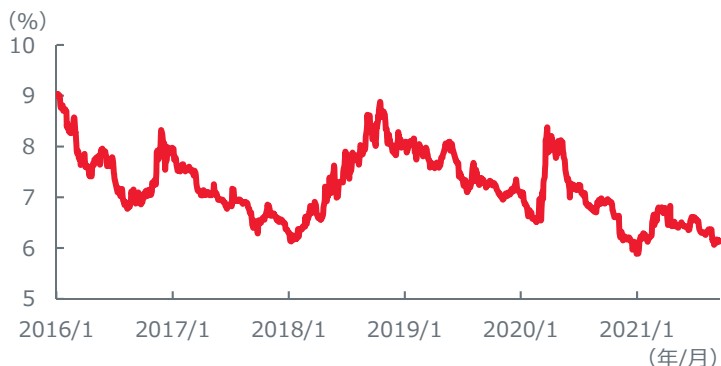


【株式市場】

週初は、アジア地域の低いワクチン接種率を背景にした新型コロナウイルスのデルタ株の影響や、行動制限による経済成長への懸念を背景にアジア株全般が軟調となる中でインドネシア株式市場も弱含みとなりました。その後、ジャワ島とバリ島における行動制限の緩和を受けて14日は反発し、特に小売株や不動産株の上昇が目立ちました。15日は銀行株が軟調となったため上値の重い展開となりましたが、週末にかけてはハイテク関連株の値上がりを背景に上昇し、インドネシア株式市場は前週末比でも上昇しました。

2021/9/10	2021/9/17	変化率
6,094.87	6,133.25	+0.63%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年9月17日)



【債券市場】

週初、14日の国債入札を前に利回りは小幅に上昇（価格は下落）しました。実際の国債入札では、特に中期債を中心に国内投資家からの強い需要が見られ好調となり、利回りはやや低下しました。14日に発表された8月の貿易収支は、世界的な商品価格の上昇などを背景に47.4億米ドルの黒字となり、黒字幅は1993年以降の統計で最大でした。債券市場では外国人投資家による資金流入が見られ利回りは低下しました。財務省は14日、アジアで初のSDGs国債（ユーロ建て、満期12年）を23日に発行すると発表しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比ほぼ変わらずとなりました。

2021/9/10	2021/9/17	変化幅
6.138	6.141	+0.003

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年9月17日)



【為替市場】

ルピアは週を通じて狭いレンジでの推移となりました。週初はアジア株が軟調となる中で上値の重い展開となりました。15日に発表された8月の貿易収支が過去最高の黒字となったことを好感しルピアは対米ドルでやや上昇したものの、買いは続かず、週末にかけて狭いレンジでの推移となりました。対円でも狭いレンジでの推移となり、ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。

2021/9/10	2021/9/17	変化率
0.7742	0.7732	-0.13%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ